

マチに学び都市を楽しむ／まちづくりNPO

## 特定非営利活動法人 もうひとつの旅クラブ

### 2019 年度(第 18 期)事業報告書

#### 1. 旅クラブが 2019 年度に取り組んだ事業実績

生活や暮らしのベースにある「わがまち」を、旅人目線で歩いてみて追体験すると新しい出会いや発見があるのではないか！ そのような思いから設立された「もうひとつの旅クラブ」は、今期 2019 年度で 18 期目に至った。

ここ数年来、「産業に資する観光」がいよいよ激しくなり、観光インバウンド“一本足打法の都市”となった大阪では、前出の設立意図とは真逆の「都市の風景」と出くわすことが多くなってしまった。しかし、そのような日常（一面性に走る大阪）であるからこそ、逆に生活者ベースの「新しい出会いや発見」が、より重要となっている。

2019 年度においては、上記のような目線から「いまどきの『もうひとつの旅』」について、いま一度見つめ直し、設立 20 周年に向けた「歩み」への再起動を考慮しつつ各事業にあたった。

以下が本年度の主な事業項目一覧である。

- (1) 自主研究「コミュニティ“が”デザインする“場”的未来／GABA 研究会」の開催と  
プランニング
- (2) 「大阪まち遊学」の企画・実施
- (3) 「ご来光カフェ」の運営支援
- (4) 「大阪川床・北浜テラス」の運営支援
- (5) 情報提供、提言活動事業

これら事業の詳細や組織内評価分析を以下に報告する。

#### (1) 自主研究「コミュニティ“が”デザインする“場”的未来／GABA 研究会」の開催とプランニング

前文に掲げた認識から、自主研究として「コミュニティ“が”デザインする“場”的未来／GABA 研究会」を 6/15、7/27、9/22 の 3 回開催した。また、同時期に実施された大阪市の大規模公園サウンディング調査に応じ、事業的な提案を試みた。

なお、この自主研究に対して JUDI 都市環境デザイン会議より公募型プロジェクトに採択され、助成金を得て、2020 年 7 月 23 日に発表会を開催予定である。

コミュニケーションが“デザインする”場の未来 GABA 研究会  
公園で出会う新たな学び「扇町マナビバ」

### 1. 立地環境評価

①大淀町・梅田東区から一望。その「聖地」に位置する扇町公園は、元来から都市のオレンジホールが極めて高い。

②梅田北ヤード等の大型都市整備が進み、樹木の潤養、業務拠点化・機能集中化により、その周辺に開運機関・支援機関として文化交流機能のニーズが、新たに高まりを見せつつある。

③扇町公園のボタンシケルものとして、以下が確認できる。

- ◆アーバンリ・ヴァーサーのデザインが世界的評価を得る子どもの博物館「キッズプラザ」と公園北エリアの連携性。
- ◆北区民ホールの 90%を超える高座利用率、「学び」を伴った地域コミュニティの存在と共に、公園を含めた一帯での学びのフィーバー性を示す。
- ◆扇町公園が公園内に立地することによるスポーツ・コミュニティの存在。
- ◆公園内・園路の地域と地域をつなぐ機能性

——これらから、コンセプトを次に設定する。

### 2. 事業コンセプト

◇立地環境評価の要点→都心部周辺での文化交換機能／世界的な「子どもの学び」と「学びのコミュニティ」／地域と地域をつなぐ「ミニ」的な能力

◇事業コンセプト（整備目的の表現・イメージ）

公園で出会う新たな学び「扇町マナビバ」

### 3. 「扇町マナビバ」の具体機能

コンセプトを反映するためのエリアとして、扇町公園に隣接の「扇町公園・南側部分」の一部において具体機能を以下のとおり設定する。

A. 地域ニーズの高まりに対応した保育園エリア

- 社会福祉法人等が運営する民間認可保育園
- ・キッズプラザや扇町公園、扇町プールなどと連携することで、安全・安心で安心の高い特徴的な保育を可能にする。（0~5歳、定員 50~60 人）
- ・B. ワークショップクラスター（マチ農場）
- ・学びが文化と地域が結ばれるアウトドアの交流スペース
- ・500 m程度の小さなクラスターが連携し、都市の自然と共生する都市の「マナビバ」
- ・各クラスターには小さなシンボル（小屋・東屋・テント等）とその周りの大木があり、一品種の（例えば、サツマイモ、タケノコ、ハーブ、桃、等々）があり、創造を楽しむ場となる。
- ・区内の井戸や「森り」の活用により、防災カフェ、帰宅困難者体験、夜間キャンプ等都市的な新しい学びの体系が連想できる。
- ・プログラミングのレッスンなど北区民ホールとの連携により、市民活動が外部へ広がり、さらに斬新な地域連携型の学びも可能となる。
- . マナビバカフェ
- ・保育園エリアとワークショップクラスターをつなぐ機能空間
- ・通常のカフェとしての営業の他、売上げの 10%を地域活動費に充て、ワークショップ連携やエリア全体の企画型マネジメントを担う。全 50 座規模。

大阪市へ提案したコンセプトシート（一部）



扇町公園の現地調査



キッズプラザ大阪の見学調査

公園で出会う新たな学び  
**「扇町マナビバ」**

大公園（大阪市営公園）の魅力向上に向けたマーケットリウンディング 提案資料  
Zoning Plan S=1:1000

☆センター施設イメージ：森のカフェ

☆防災体験クラスターの施設イメージ

☆都市農園ワークショップイメージ ☆オープンなワークショップユニットの例

☆各ワークショップ・クラスターの基礎シェルのイメージ

☆ツリーハウスワークショップ&防災備蓄庫イメージ

☆星空の下のワークショップ例

☆防災テント体験ワークショップ

☆センターカフェ  
面積面積 1100m<sup>2</sup>  
建築面積 200m<sup>2</sup>  
延床面積 200m<sup>2</sup>

☆ワークショップクラスター  
a 800m<sup>2</sup>  
b 900m<sup>2</sup>  
c 850m<sup>2</sup>  
d 500m<sup>2</sup>  
e 400m<sup>2</sup>  
f 350m<sup>2</sup>  
g 750m<sup>2</sup>  
h 950m<sup>2</sup>

☆扇町公園内施設  
面積面積 1200m<sup>2</sup>  
建築面積 500m<sup>2</sup>  
延床面積 400m<sup>2</sup>

大阪市へ提案したゾーニングマップ

【主担当】李理事長、岩田理事、岸田理事

## (2) 「大阪まち遊学」の企画・実施

### 【事業趣旨・目的】

自分が身近に生活するまち（居住地でも勤務地でも構わない）を旅人の目線で歩いてみる。普段なにげなく接しているそのまちに今まで気づかなかった魅力を発見してしまう。その魅力をその人の視点で紹介、自慢し、再び訪ねたくさせる。旅人とジモティとの出会いを生み出さ新しコミュニティ・旅のプログラムを造成しまちの活性化を促進する。



### 【事業内容】

今年度も例年同様に、各コース担当者が地域とテーマを定めてコースを企画し、ユニークなまち歩きプログラムを実施した。

### 【事業成果】

以下の 2 コースを造成し、1 コースを実施した。

（12 月の「江坂 1980 年代の思い出の場所を訪ねて」は順延しました。）

実施日	タイトル	参加数 (お客様)	スタッフ 参加
1 月 19 日 (土)	まちの酒屋さんめぐり (ミナミ編)	7 名	4 名
12 月	江坂 1980 年代の思い出の場所を訪ねて		延期
合計		11 名	

### まちの酒屋さんめぐり (ミナミ編)



小鼓御里にて説明

【主担当】森副理事長、米谷理事、田尻理事

### (3) 「ご来光カフェ」1週間だけの夜明け伝説 の運営支援

#### 【事業趣旨・目的】

市民共有の資産である「中之島の水辺」を舞台に「都心の自然」という魅力の発掘を行い、水辺という公共的空間の過ごし方、使い方を多様な側面から提案してきたご来光カフェの企画・運営主体を永年主体的に関わってくれているボランティアスタッフを中心とする「ご来光カフェ実行委員会」に委ね、後方支援や新スキームの検証、それらの調整過程を事業に位置付けて、初年の実施となった。今回は大阪初の SUP 世界大会の実施もあり、世界から訪れる選手をもてなすカフェも合わせて実施、大会本部との調整の任も果たすこととなった。ご来光カフェは今年で 14 回目の開催であるが、昨年クルーズ船の運行が終了したため、初年以来、カフェのみの運営に戻り、原点を見直すいい機会となった。



#### 【事業内容】

- ・期 間：2019 年 9 月 20 日（金）22 日（日）（SUP 世界大会もてなしご来光カフェ）  
2019 年 10 月 1 日（火）～8 日（火）（通常のご来光カフェ）
- ・営業時間：5:30～8:30（SUP 期間は 6:00～）
- ・場 所：大阪水上バス淀屋橋港桟橋
- ・内 容：  
 ①桟橋の設え、準備日程や各種手続きの指導や協力  
 ②カフェ期間の運営に対する協力  
 ③専用ホームページや Facebook による PR の協力  
 ④継続的な開催のための賛同者・ボランティアスタッフの募集・調整の協力
- ・実施主体：ご来光カフェ実行委員会
- ・協 力：大阪水上バス株式会社、NPO 法人もうひとつの旅クラブ

#### 【事業成果】

2019 年は日本で初開催となる SUP 世界大会のもてなし・観覧支援を目的とするカフェの運営が 9 月 20 日より始まり、引き続いて、通常のご来光カフェが開催された。SUP もてなしカフェは大会自体の知名度や事前の PR 不足も響いて来行者は 20 日が 12 名、22 日が 16 名で大盛況とはいかなかった。カフェは桟橋の立地を活かしてその座席を川に正対させて、世界レベルの選手の迫力のパフォーマンスを目の前にすることができた。応援の声も容易に届き、もてなしの趣旨を充分果たしたと言えるだろう。引き続きおこなわれたご来光カフェ期間中の来訪者数は 363 名で昨年の 541 名に比べて約 30% 減となった。この原因是、雨天休業が 1 日あったこと、土日祝の休日が期間中に 2 日しかなく、かつ両日とも曇天であったこと、また、クルーズがなくなりカフェのみの営業になったことなどの複合的な要因が考えられる。平日のうち、4 日間はいろいろな朝日を見ることができたのであるが、それぞれ前日の天気予報が思わしいものではなく、残念ながら爆発的な来行者にはつながらなかった。週末はコンスタントに 100 名近くの来訪者があったものの、結果的にはご来光に恵まれない残念な結果となった。

来訪者の感想などを記入いただくメッセージボードへのメッセージは、延べ 77 枚寄せられた。

例年どおり、初参加の感動やご来光に出会えずリベンジの誓い、逆にご来光に出会えた幸運と再訪の宣言、コーヒーの味やスタッフへの賞賛、水辺の気持ちよさの発見などのコメントが多く見られた。「胸がいっぱいいで言葉が出ません。淀屋橋ご来光カンドー！！」「大阪の川ってすごいやん。自然のスペクタクル！」「ご来光は見られませんでしたが美味しいコーヒーと朝の気持ちよい風が最高でした。」「朝の川沿いで飲むコーヒーはサイコー！！今週もお仕事がんばります！スタッフのみなさまありがとう！」などの意見には継続の意義を感じて、大変勇気づけられる。

メディア掲出は、水都大阪コンソーシアムの SUP 開催ちらし「水辺の朝ごはん」と例年どおり「大阪スケジュール 10 月号」に掲載されたほか、FM COCOLO 等で紹介された。

フェイスブックの開催告知については、リーチ 10,700 人・シェア 77 件があり、これは昨年とほぼ同等である。フォロワーは 1324 名となり、昨年の 1245 名からは約 80 名の増加となった。

スタッフについて、今年はスタッフの紹介による新スタッフ応募が 1 名とご来光カフェ初期に活躍した OB スタッフの復帰が 1 名あった。全日参加を申し出てくれるスタッフ（通称コンプリーター）が 12 名で期間中スタッフは昨年の 161 人・日に対して今年が 122 人・日。カフェのみの営業で必要数は減っているので、程よいスタッフ数といえる。新スタッフの応募が少なかったのは、カフェのみの営業ということで SNS において積極的に募集を行わなかつたためである。未来につなげていくためには、新たなスタッフを募集して運営母体を強化していくことが必須であろう。

#### 【活動写真】



【主担当】岩田理事、岸田理事、小坂谷監事

## (4) 「大阪川床・北浜テラス」の運営支援

### 【事業趣旨・目的】

北浜テラスは、今年は新規川床設置中。2 店舗が入れ替わる。北浜ミズム NO 階段を製作、設置を行った。運用ルールを作成し関係者の合意を得て、運用開始準備中。

### 【事業内容】

#### ①各種会議

- ・総会（2019 年 5 月 30 日）@北浜フォーラム
- ・理事会（原則毎月 1 回）

#### ②テラスの設置・運営、テラス新設への支援

- ・ハウザービル川床新設（途中）
- ・一部店舗の入れ替えあり

オリザ

→オプティマスカフェ 8/2 オープン

北濱俱楽部

→IL Suono di Emilia 12/16 オープン

#### ③北浜ミズム（水上ステージ&船寄場）の実施準備

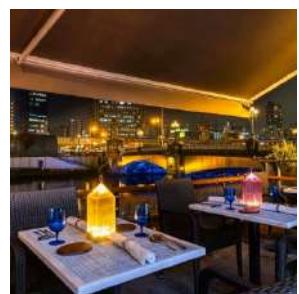
- ・アクセス階段の製作、設置
- ・運営ルール作成、大阪府・アクセス店舗（アンドアイランド）との合意

#### ④その他

- ・店舗連携イベント「RIVER SIDE FROW」開催

### 【主担当】泉理事、岸田理事

（泉は北浜水辺協議会の理事、岸田は監事を兼ねる）



## (5) 情報提供、提言活動事業

(1)～(5)の他にも、まちづくり NPO として、大阪のまちの魅力を再発見・開拓し、多くの人々と共有するために、各種情報提供や提言活動への参加等を展開した。

### ◆ご来光カフェ・インスタグラムの開設

情報発信メディアとして長年運用中の公式 HP、ご来光カフェ・大阪まち遊学フェイスブックページ、並びに、昨年度より運用開始した公式インスタグラム (osakatabicloud) に加えて（図 1 左）、今年度よりご来光カフェ・インスタグラムを開設した (goraiko.cafe)。初投稿は、ご来光カフェの準備を進めている 2019 年 7 月となった。以降、ご来光カフェの準備・開催中に、合計 20 アップしている（図 1 右）。

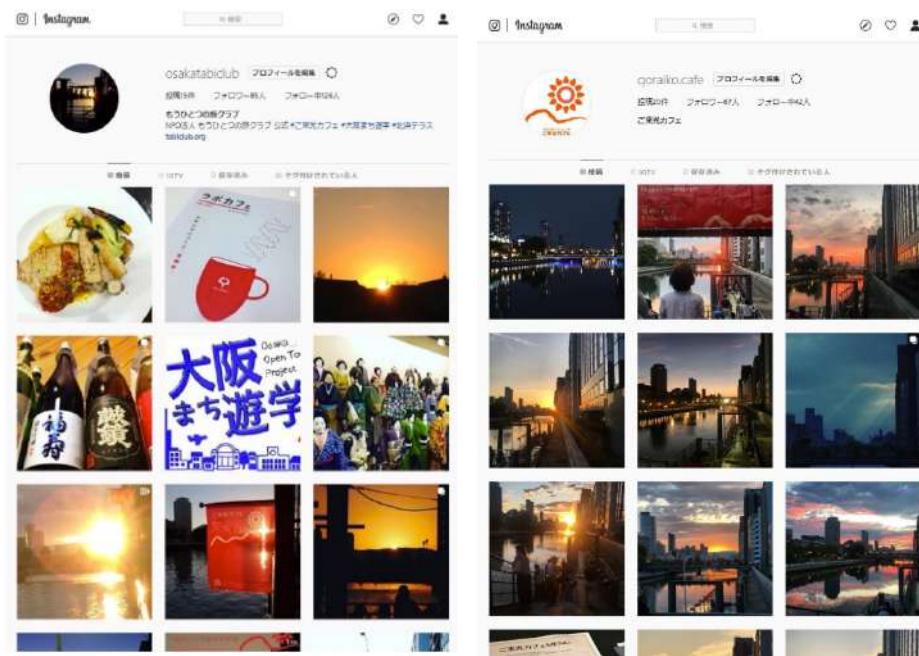


図 1 インスタグラム (左 : 旅クラブ公式 ; 右 : ご来光カフェ)

#### ◆ご来光カフェとまち遊学の Facebook ページ

ご来光カフェフェイスブック (<https://www.facebook.com/goraiko/>)、大阪まち遊学フェイスブック (<https://www.facebook.com/osakaopentown/>) を、先期までに引き続き、今期も運用した(図 2)。ご来光カフェや大阪まち遊学のイベント告知、イベント前後の参加者とのコミュニケーションツールとして継続的に活用している。



図 2 Facebook ページ (左 : ご来光カフェ, 右 : 大阪まち遊学)

## ◆旅クラブ公式 HP による情報提供とセッション数

公式 HP ([www.tabicclub.org](http://www.tabicclub.org)) を先期までに引き続き、今期も運用した（図 3）。各種イベントに関する告知・報告等の情報提供を行った。更新内容は次の通り。

- ・2018 年度（第 17 期）事業報告書（7 月 29 日 up）
- ・ご来光カフェ 2019 始動（9 月 16 日 up）

2019 年 4 月～2020 年 1 月の月別セッション数を前年と比較して示す（図 4）。4 月：161 (-99)、5 月：130 (-42)、6 月：125 (-195)、7 月：118 (-80)、8 月：128 (-169)、9 月：422 (+83)、10 月：395 (-137)、11 月：151 (-3)、12 月：181 (+43)、1 月：181 (+29) となった。ご来光カフェ等、旅クラブイベントが活性化する秋のセッション数が他の時期より際立って多い。一方、年々、セッション数は低下傾向にある。

なお、本解析は Google アナリティクスを用いた。1 セッションを「ユーザーがウェブサイトに積極的に関わっている期間」と定義している。



図 3 公式 HP



図 4 セッション数の月別変化（前年比較）：ブルー：2019 年度、オレンジ：2018 年度

## ◆ブログによる情報提供

ブログにおいて、各種イベントに関する告知・報告等の情報提供を行った。更新内容は次のとおり。

- ・【令和初】ご来光カフェ 2019（2019 年 9 月 17 日 up）

【主担当】磯上、藤原、福田副理事長

## ◆新聞・ホームページ等への掲載

1. 大阪スケジュール 1 月号『大阪まち遊学「まちの酒屋さんめぐり（ミナミ編）』』
2. 関西グルメブロガーズ HP  
『「ご来光カフェ 2019」いつもと違う出勤前の穏やかな時間@淀屋橋桟橋』  
<https://kgbs.jp/2019/09/25/goraikocafe2019-original/>
3. 中央区にぎわい発見サイト大阪中心 HP イベント『ご来光カフェ 2019』  
<https://osaka-chushin.jp/event/45340>
4. 中之島まちみらい協議会 HP 「中之島スタイル.com ～中之島散策」  
『1年に1週間だけオープンする「ご来光カフェ」中之島で、日の出を拝む最高の贅沢をどうぞ』  
<https://www.nakanoshima-style.com/walk/5969>

## 5. 每日新聞夕刊『旅する赤裸々』連載 李理事長

2019年4月5日、5月17日、6月7日、7月5日、8月2日、8月30日、9月6日、  
10月4日、11月1日、11月29日、12月6日

**GUIDED TOUR**

**1月  
19** 大阪まち遊学「まちの酒屋さんめぐり(ミナミ編)」  
~こだわりの酒屋さんは楽しい!「自分好みの一本」に出会う旅~

大阪のまちを旅人の視点で見るまち歩きシリーズ。長年、地域に密着している「まちの酒屋さん」で、お店の人との会話から「自分好みの一本」が見つかる大好評企画の第二弾!お酒を飲めるスペースがある店、お酒選びの的確なアドバイスがもらえる店、藏元の情熱を届ける店。個性の違うこだわりの酒屋さんをめぐる。

▶1/19(土) 14:00集合・17:30解散予定/集合:大阪メトロ日本橋駅東改札口前/¥3000(お土産・試飲付)※定員14名、メールまたはFAXにて要申込み/machi@tabicclub.org/FAX06-4303-4812

大阪スケジュール1月号  
『大阪まち遊学「まちの酒屋さんめぐり(ミナミ編)』』

**KGB 関西グルメブロガーズ**

HOME > カフェ > フォトギャラリー

「ご来光カフェ2019」いつもと違う出勤前の穏やかな時間@淀屋橋桟橋

関西グルメブロガーズ HP  
『「ご来光カフェ 2019」いつもと違う出勤前の穏やかな時間@淀屋橋桟橋』

トヨタ・ナカシマ・ユーティリティ・マガジン

HOME NEWS EVENT おでかけ 地域情報

1週間に1回開催する「ご来光カフェ」。中之島で、日の出を拝む最高の贅沢をどうぞ。

ご来光カフェ 2019  
1週間にだけの夜明け伝説  
happy morning cafe

14th

【中之島散策へ中之島人を呼んで】

「ご来光カフェ」をご存知でしょうか? 中之島で1年の間で毎日同じ場所で同じ行動での期間だけの期間限定カフェ。それが「ご来光カフェ」。 今年もいよいよ、そのオープンが近づいてきました。 マルシェーを始めと西田井住さん、お説きをうかがってきました。

ご来光カフェは毎日1回開催される1週間だけの期間限定のカフェです。朝日が昇る中之島の街並みを眺めながら、おしゃべりや音楽などを楽しむことができます。

トヨタ・ナカシマ・ユーティリティ・マガジン

HOME NEWS EVENT おでかけ 地域情報

「ご来光カフェ」。なん、こんな情緒的シートに川合さん!

おはよう! 朝から光景の美しさをめぐらしくおしゃべりを始めた中之島のカフェがついに開店です。

世界初の光景! 朝日が昇り、河原を走っている車、夜景を楽しむ船や船員、日没時の街並みなど、中之島の風景を楽しむことができます。

中之島の朝日、河原を走る車、夜景を楽しむ船や船員、日没時の街並みなど、中之島の風景を楽しむことができます。

中之島の朝日、河原を走る車、夜景を楽しむ船や船員、日没時の街並みなど、中之島の風景を楽しむことができます。

中之島の朝日、河原を走る車、夜景を楽しむ船や船員、日没時の街並みなど、中之島の風景を楽しむことができます。

中之島まちみらい協議会 HP 「中之島スタイル.com ~中之島散策~」  
『1年に1週間にだけオープンする「ご来光カフェ」中之島で、日の出を拝む最高の贅沢をどうぞ』

毎日新聞夕刊『旅する赤裸々』連載

2019年4月5日付

## 旅する赤裸々 街に浸るスカタン同盟

天満の天神さん裏門すぐの大阪都心でベンションを開業したのは1994年。まだ固定電話が当たり前、インターネットを使う予約システムは影も形もなかった。このころの大阪は、御堂筋も中之島も都心はサラリーマンの聖地。ミナミとキタは地元民の盛り場。外国人ビジターとかインバウンドは影形無し。「商都大阪」という古色蒼然のキャッチが幅を利かせ、観光的には鎖国状態だった。

当然、大阪に観光のイメージはゼロ。都心のベンションは、友人や大阪人からも一笑された。「街角のベンション」と名付けた商売は、客人共々「喜ばずよろしく歩き薬しむ」を自玉にしたので、妻子にもそれなりに好奇の目が注がれ、なんどなく赤裸々なことが多かった。ところが4～5年もたつと、パソコンがドーンと安価に。「予約サイト」なるシステムも開発され、個人と世界がつながった。海

外が「旅行社の専売」から「個人の旅に乗り移った。初めてこのシステムで予約して泊まりに来たスペイン人が玄関に立っているのを見たときは、「こら、えらい時代や！」と驚嘆した。

同時進行で終身雇用が退潮し郊外居住が一気に衰退。逆に「働き・遊ぶ・暮らす」を二元化した都心居住が階段に進みだした。このことで、街歩きを志す「NPO」が急に増え、スカタンを共有してくれる物好きが集まりだした。「なんぞ、やろ!」ということになり、NPO法人をつくることになった。2002年のことだ。

審美眼を注ぐ。嘗みに敬意を払う。街の未来に思いを致す。「もうひとつの旅クラブ」という名のNPO法人の定款には載っていない、自分だけに課した街歩きの3大要素だった。

NPO法人「ラブホテル条例」の厳しい建築指導を自いっぱい受け、高コスト体質。格安と対等商売の自信ゼロ! 必死のバッヂの逃げだった。NPO法人もうひとつの旅クラブを創設した。そのは

天満の天神さん裏門すぐの大阪都心でベンションを外が「旅行社の専売」から「個人の旅に乗り移った。初めてこのシステムで予約して泊まりに来たスペイン人が玄関に立っているのを見たときは、「こら、えらい時代や！」と驚嘆した。

このころの大阪は、御堂筋も中之島も都心はサラリーマンの聖地。ミナミとキタは地元民の盛り場。外国人ビジターとかインバウンドは影形無し。「商都大阪」という古色蒼然のキャッチが幅を利かせ、観光的には鎖国状態だった。

当然、大阪に観光のイメージはゼロ。都心のベンションは、友人や大阪人からも一笑された。「街角のベンション」と名付けた商売は、客人共々「喜ばずよろしく歩き薬しむ」を自玉にしたので、妻子にもそれなりに好奇の目が注がれ、なんどなく赤裸々なことが多かった。ところが4～5年もたつと、パソコンがドーンと安価に。「予約サイト」なるシステムも開発され、個人と世界がつながった。海

外が「旅行社の専売」から「個人の旅に乗り移った。初めてこのシステムで予約して泊まりに来たスペイン人が玄関に立っているのを見たときは、「こら、えらい時代や！」と驚嘆した。

このころの大阪は、御堂筋も中之島も都心はサラリーマンの聖地。ミナミとキタは地元民の盛り場。外国人ビジターとかインバウンドは影形無し。「商都大阪」という古色蒼然のキャッチが幅を利かせ、観光的には鎖国状態だった。

当然、大阪に観光のイメージはゼロ。都心のベンションは、友人や大阪人からも一笑された。「街角のベンション」と名付けた商売は、客人共々「喜ばずよろしく歩き薬しむ」を自玉にしたので、妻子にもそれなりに好奇の目が注がれ、なんどなく赤裸々なことが多かった。ところが4～5年もたつと、パソコンがドーンと安価に。「予約サイト」なるシステムも開発され、個人と世界がつながった。海

外が「旅行社の専売」から「個人の旅に乗り移った。初めてこのシステムで予約して泊まりに来たスペイン人が玄関に立っているのを見たときは、「こら、えらい時代や！」と驚嘆した。

このころの大阪は、御堂筋も中之島も都心はサラリーマンの聖地。ミナミとキタは地元民の盛り場。外国人ビジターとかインバウンドは影形無し。「商都大阪」という古色蒼然のキャッチが幅を利かせ、観光的には鎖国状態だった。

このころの大阪は、御堂筋も中之島も都心はサラリーマンの聖地。ミナミとキタは地元民の盛り場。外国人ビジターとかインバウンドは影形無し。「商都大阪」という古色蒼然のキャッチが幅を利かせ、観光的には鎖国状態だった。

2019年5月17日付

## 旅する赤裸々 大阪むしばむ「観光公害」

歴史や文化の外見は確固たる存在感で人を迎えることができるが、大阪の不思議——ない交ぜの文化を表現するおとほけは、ことになった。2002年のことだ。

この赤裸々が過ぎ、コミュニケーションでは表現しにくい魅力を大阪に閉じ込めた。古都としての長い歴史は、ない交ぜの文化を育み、言いでは表現しにくい魅力をいざなう。NPO法人もうひとつの旅クラブも創設された。この赤裸々が過ぎ、コミュニケーションでは表現しにくい魅力を大阪に閉じ込めた。古都としての長い歴史は、ない交ぜの文化を育み、言いでは表現しにくい魅力をいざなう。NPO法人もうひとつの旅クラブも創設された。

この赤裸々が過ぎ、コミュニケーションでは表現しにくい魅力を大阪に閉じ込めた。古都としての長い歴史は、ない交ぜの文化を育み、言いでは表現しにくい魅力をいざなう。NPO法人もうひとつの旅クラブも創設された。

この赤裸々が過ぎ、コミュニケーションでは表現しにくい魅力を大阪に閉じ込めた。古都としての長い歴史は、ない交ぜの文化を育み、言いでは表現しにくい魅力をいざなう。NPO法人もうひとつの旅クラブも創設された。

この赤裸々が過ぎ、コミュニケーションでは表現しにくい魅力を大阪に閉じ込めた。古都としての長い歴史は、ない交ぜの文化を育み、言いでは表現しにくい魅力をいざなう。NPO法人もうひとつの旅クラブも創設された。

2019年6月7日付

## 旅する赤裸々 染まらぬ町へいざ出航

「商都」が「売り」で観光は無視。そんな四半世紀前の大阪で営んだベンションを廻点に、滋味豊かな「わが街」に触れてもらいたい、とNPO法人もうひとつの旅クラブも創設された。

この赤裸々が過ぎ、コミュニケーションでは表現しにくい魅力を大阪に閉じ込めた。古都としての長い歴史は、ない交ぜの文化を育み、言いでは表現しにくい魅力をいざなう。NPO法人もうひとつの旅クラブも創設された。

この赤裸々が過ぎ、コミュニケーションでは表現しにくい魅力を大阪に閉じ込めた。古都としての長い歴史は、ない交ぜの文化を育み、言いでは表現しにくい魅力をいざなう。NPO法人もうひとつの旅クラブも創設された。



2019年9月6日付

## 旅する赤裸々 違いが楽しい「おいしい沿線」

大分県豊後大野市の辻河  
原の石風呂で「いぶし温泉」を休憩し、「モークサーキングみたいな味わい深い芳香」のNPO仲間10人は、香のNPO仲間10人は、豊後の国（大分県）と肥後の国（熊本県）を結ぶ豊肥線で、緒方駅から三重町駅に移動した。

「豊肥」は「ぼうひ」と読む。この沿線の農業や畜産の多様性を考えると、ピタリの言い回し。野菜も肉も「おいしい沿線」だ。農後大野市には6駅。江戸期の藩政では、岡、白杵、佐伯の三国が重なる「三重町」は、商業で大繁盛した地域の中心。物流拠点の曰杵藩代官所もあった。

一方、緒方駅は岡藩方。山中奥深い岡城跡は2駅向こうだが、「城下の町」が自信。「商業の町」三重町とは雰囲気が真逆！ 現代も「違い」が明快で素晴らしい。

その趣の違いは、さながら異国。このローカル線は國と國とを結んでいるから、「国境を超える小さな旅」が楽しめるというわけだ。

NPO法人 李有師  
もうひとつの旅クラブ  
水害などで「外的的な記憶」がりセットされることが多

話を元に戻す。NPO仲間と三重町駅に移動した。スモーキーな夜、岡藩方の重鎮から宴の誘いがあった。もちろん接待ではない。ミッションの独立性から、旅費などは一切自腹の「学びの旅」だ。

仲間に元れっ子プランナーや建築デザイナーら、その道のプロもいる。だから、この喜は地域の人たちとの「まちづくり交流の場」、そう考えてた。ところが、岡藩方重鎮の振る舞いは「城主」を感じさせたよう、商人町からは誰一人来ず！

「違い」を楽しみとして活躍させる観光が映える。その反対は、勝手気ままな括約筋だけが、あっちこっちでピクピク動く。大

人暮らしで開業が近い。さら裏窓を見上げればガストハウスに手が届く。

観光「命」のその姿はまるで突発性観光都市……。

たった5年でこのガラガラボンはなんだ！ 促成栽培の「観光」が、古めの家やビルを「無価値」とし、街の「使い捨て」を奨励、た

った5年で街を変えていった。異常な街の変化による「めまい」と思いきや、本物の突発性難聴だった：

街中では、超高層マンションが屹立し、計画不在で小学校がパンク。そのマンション内ではインバウンドと鉢合わせ。ホテル建設も鉢合戦。ホテル建設も街を築いた。迷つことのうちで開業が近い。さら裏窓を見上げればガストハウスに手が届く。

この国では無形の営みに敬意を払い、碧らしの継承の中に魅力を発見し、記憶を未来に積み上げながら歴史や文化を育ててきた。

洲の石積みの街に「外的歴史観」は勝てないが、アーチや日本食を筆頭にこ

の国の生活文化の魅力は世界遺産にも勝る。融通無碍な大阪は「その」代表格の「情感の都市」だった。と

ころが街のすべてが観光に乗じて、薄落城したかのようで薄っぺら……。深みとユーモアは「どこいったん？」

生活文化に弱気がなけれ

ば、観光の泡はすぐに立ち消え、すっぽんぽんの街になる。物語で人を惹きつけってきた大阪は、街の記憶を「観光消費」だけにツケ回すべきではない。

船場で完成目前のホテルを見上げたら、難聴の目の底から底知れぬ不安げな音がした。

この夏、パリで船に乗った。「バトビューズ」という水上バス。セース川の遊覧船だ。ぐるぐると周遊でき、乗り降り自由。眺望も素晴らしく、エッフェル塔やボンビドゥー・セントー、中心部のシテ島、ノートルダム大聖堂（復旧工事中）などを楽しんだ。迷つことのない「船旅」だった。

大阪との比較は野暮だ。ムダをシテ島になぞらえ、島をシテ島になぞらえて、語ることがある。そう

いえば、中之島には国立国際美術館があり、大阪市立東洋陶磁美術館もある。

市立の大坂中之島美術館もできるという。ボンビドウ

ー・センターはイタリアの建築家レンゾ・ピアノ氏が

デザインに関わったが、この人は関西国際空港の旅客

ターミナルもデザインしている。

中之島には水都の大川を周遊する水上バスもある。

「なるほど、中之島はシテ島だ！」。ところが、比較はこけた。名前が粹でな

いからだ。「セーヌ川」は掛け値なしの唯一無二の名。こちら「大川」は……日本中にある。

別名「旧淀川」を使うのが大隠謀か？

観光どは「記憶を価値化すること」だ。だからセー

ヌ川を細切れにするようなスカタンはありえない。ところが大阪は、淀殿の名残である淀川の名を豊臣秀吉

の名前も細切れ。「記憶の価値化」とは縁遠い。

これではインバウンド客にも迫力不足？ (知らんけど)。大阪の母なる流れに「記憶」を呼び起こしたいものだ。

NPO法人 李有師  
もうひとつの旅クラブ  
水害などで「外的的な記憶」がりセットされることが多

いからだ。「セーヌ川」は掛け値なしの唯一無二の名。こちら「大川」は……日本中にある。

別名「旧淀川」を使うのが大隠謀か？

観光どは「記憶を価値化すること」だ。だからセー

ヌ川を細切れにするようなスカタンはありえない。ところが大阪は、淀殿の名残である淀川の名を豊臣秀吉

の名前も細切れ。「記憶の価値化」とは縁遠い。

これではインバウンド客にも迫力不足？ (知らんけど)。大阪の母なる流れに「記憶」を呼び起こしたいものだ。

NPO法人 李有師  
もうひとつの旅クラブ  
水害などで「外的的な記憶」がりセットされることが多

2019年10月4日付

## 旅する赤裸々 「情感の大坂」どこいった

大分県の奥地で単身5年、「観光村おこし」の土台づくりに汗を流した。年季が明け今年4月に帰阪。久しぶり大阪都心を自転車で走り回った。——と、夏の終わりになって、急なめまいが止まらない。

街中では、超高層マンションが屹立し、計画不在で小学校がパンク。そのマンション内ではインバウンドと鉢合わせ。ホテル建設も鉢合戦。ホテル建設も街を築いた。迷つことのうちに開業が近い。さら裏窓を見上げればガストハウスに手が届く。

この国では無形の営みに敬意を払い、碧らしの継承の中に魅力を発見し、記憶を未来に積み上げながら歴史や文化を育ててきた。

洲の石積みの街に「外的歴史観」は勝てないが、アーチや日本食を筆頭にこの

の国の生活文化の魅力は世界遺産にも勝る。融通無碍な大阪は「その」代表格の「情感の都市」だった。と

ころが街のすべてが観光に乗じて、薄落城したかのようで薄っぺら……。深みとユーモアは「どこいったん？」

生活文化に弱気がなけれ

ば、観光の泡はすぐに立ち消え、すっぽんぽんの街になる。物語で人を惹きつけってきた大阪は、街の記憶を「観光消費」だけにツケ回すべきではない。

船場で完成目前のホテルを見上げたら、難聴の目の底から底知れぬ不安げな音がした。

この夏、パリで船に乗った。「バトビューズ」という水上バス。セース川の遊覧船だ。ぐるぐると周遊でき、乗り降り自由。眺望も素晴らしく、エッフェル塔やボンビドゥー・セントー、中之島、「望島川」と「土どを楽しんだ。迷つことのない「船旅」だった。

大阪との比較は野暮だ。ムダをシテ島になぞらえ、島をシテ島になぞらえて、語ることがある。そう

いえば、中之島には国立国際美術館があり、大阪市立東洋陶磁美術館もある。

市立の大坂中之島美術館もできるという。ボンビドウ

ー・センターはイタリアの建築家レンゾ・ピアノ氏が

デザインに関わったが、この人は関西国際空港の旅客

ターミナルもデザインしている。

中之島には水都の大川を周遊する水上バスもある。

「なるほど、中之島はシテ島だ！」。ところが、比較はこけた。名前が粹でな

いからだ。「セーヌ川」は掛け値なしの唯一無二の名。こちら「大川」は……日本中にある。

別名「旧淀川」を使うのが大隠謀か？

観光どは「記憶を価値化すること」だ。だからセー

ヌ川を細切れにするようなスカタンはありえない。ところが大阪は、淀殿の名残である淀川の名を豊臣秀吉

の名前も細切れ。「記憶の価値化」とは縁遠い。

これではインバウンド客にも迫力不足？ (知らんけど)。大阪の母なる流れに「記憶」を呼び起こしたいものだ。

NPO法人 李有師  
もうひとつの旅クラブ  
水害などで「外的的な記憶」がりセットされることが多

2019年11月1日付

## 旅する赤裸々 水都の母なる川の名は

この夏、パリで船に乗った。「バトビューズ」という水上バス。セース川の遊覧船だ。ぐるぐると周遊でき、乗り降り自由。眺望も素晴らしく、エッフェル塔やボンビドゥー・セントー、中之島、「望島川」と「土どを楽しんだ。迷つことのない「船旅」だった。

大阪との比較は野暮だ。ムダをシテ島になぞらえ、島をシテ島になぞらえて、語ることがある。そう

いえば、中之島には国立国際美術館があり、大阪市立東洋陶磁美術館もある。

市立の大坂中之島美術館もできるという。ボンビドウ

ー・センターはイタリアの建築家レンゾ・ピアノ氏が

デザインに関わったが、この人は関西国際空港の旅客

ターミナルもデザインしている。

中之島には水都の大川を周遊する水上バスもある。

「なるほど、中之島はシテ島だ！」。ところが、比較はこけた。名前が粹でな

いからだ。「セーヌ川」は掛け値なしの唯一無二の名。こちら「大川」は……日本中にある。

別名「旧淀川」を使うのが大隠謀か？

観光どは「記憶を価値化すること」だ。だからセー

ヌ川を細切れにするようなスカタンはありえない。ところが大阪は、淀殿の名残である淀川の名を豊臣秀吉

の名前も細切れ。「記憶の価値化」とは縁遠い。

これではインバウンド客にも迫力不足？ (知らんけど)。大阪の母なる流れに「記憶」を呼び起こしたいものだ。

NPO法人 李有師  
もうひとつの旅クラブ  
水害などで「外的的な記憶」がりセットされることが多

2019年11月29日付

## 旅する赤裸々 「迷称」では名所たりえず

大阪・天満の大川（旧淀川）沿い、帝国ホテル大阪の対岸の毛馬桜之宮公園に「青灣」と刻まれた石碑がひっそりと佇んでいます。「この酒の水 甘香にして茶に適す 泡みて尽きず 青霞を覗つにまさる」碑の裏面の銘には漢文でそう刻まれる。説明文によると、「茶の湯を愛好した豊田秀吉は、このあたりの淀川の水が特に清らかであることを知り、この付近に小滝を設け「青灣」と名づけて長く愛用した。

碑の裏面の銘には漢文でそう刻まれる。説明文によると、「茶の湯を愛好した豊田秀吉は、このあたりの淀川の水が特に清らかであることを知り、この付近に小滝を設け「青灣」と名づけて長く愛用した。この碑は「秀吉」「清い水」「茶の湯」が、淀川と手で石碑が建立され、明治初期には付近の水が売られていたことも記されている。この碑は「秀吉」「清い水」「茶の湯」が、淀川とめどんご、淀川を東京人ほどらえると、「淀」は、よどんで汚い流れの名称とおどしめる。黄、某評論

李有師  
もうひとつの旅クラブ  
NPO法人

大阪・天満の大川（旧淀川）沿い、帝国ホテル大阪の対岸の毛馬桜之宮公園に「青湾」と刻まれた石碑がひっそりと佇んでいます。「この酒の水 甘香にして茶に適す 泡みて尽きず 青霞を覗つにまさる」碑の裏面の銘には漢文で

家が月刊雑誌に書いていた。アホか？ 淀川の名の由来には諸説あるが、「淀み」のように見えるゆるやかな流れのある川、というのが有力らしい。「青湾」の碑はその証しだ。

だが、悔しいことに、名

称ならぬ「迷称」が数多い。「新大阪」「大川」などの無味無臭な名を筆頭に「ギタ」「ミナミ」「OAP」「OAP」……。これでは

単なる符丁だ。

伊丹市は兵庫県だが、大

阪国際（伊丹）空港」と符

合せた「場の符丁化」が

好きだったようだ。だが、

地域を超えた大交流の時

代。名称にも「人格」が求

められ、個性や多様性こそ

が魅力となる。

そんなことを考え、青湾

の碑前に長居していると、

こぬか雨がいつしか本降りになっていた。

ところが、淀川を東京人

がどうえると、「淀」は、

よどんで汚い流れの名称

とおどしめる。黄、某評論

李有師  
もうひとつの旅クラブ  
NPO法人

大阪市生野区にあった

「山田スイミングクラブ」。

旅することが、夢のまた

夢だった昭和40年代はじめ

のこと。ここに集う小学

生スマートたちが、私の

今につながる「旅」へとい

ざなってくれたようと思

う。

全国からスカウトされた

クラブ所属の子どもたちが

共同生活を送る屋内プール

を備えた「合宿所」が小学校

校前の大好きな製菓会社の敷

地内にあった。

同じ学年の女子選手全員

が私の級友で、教室では北

海道や東日本、九州など各

地方言が飛び交ってい

た。熊本出身のGさんは姉

と二人で合宿所暮らしをし

ていた。

高学年の時は10人ほどが

日本を代表する水泳選手。

朝一番に泳ぎ、下校して

また泳ぐというハードな練

習の日々を聞き、「本物の

世界」を見る級友たち

が、まるで宇宙人に見え

た。

その後、「夢を手にする

にはまず旅だ!」といふ、

不思議な感觸が湧いてき

た。今思うと自身にとつて

の「社会の扉」が開かれた

瞬間だったように思う。

パネリスト登壇する岩田理事



### ◆講演

#### 1. 中之島リサーチプログラム

島袋道浩「中之島の水辺の使い方」

・主催 文化庁（平成30年戦略的芸術文化創造推進事業）

・開催 2019年1月22日（火）

京阪電車なにわ橋駅アートエリアB1

・担当 岩田理事

#### 2. 水都大阪アニバーサリーナイト

・出催 水都大阪アニバーサリーナイト有志の会

・開催 2019年10月19日（土）中之島公園芝生広場

・担当 泉理事

## 2. 旅クラブの組織活動(組織活動の充実と強化)と財源確保

### (1) 組織活動、市民参加による事業促進

#### ①会員の拡大

大阪まち遊学の参加者との交流やご来光カフェの運営ボランティアスタッフの充実などを通じ、当 NPO の活動主旨に賛同いただける方の発掘に努めた。今年度は会員数の増減は下記のとおりで、当 NPO の活動に関心を持っている方は着実に増えている。

#### ◇2019 年度の会員数

- ・正会員 23 名（前年度比 2 名減、1 名増）
- ・賛助会員 0 名（前年度比増減なし）

#### ②組織活動

昨年度と同様に運営委員会を月例で開催し、大阪まち遊学、ご来光カフェ、その他特別な事業の企画・実施方策等を協議した。

#### ◇総会（第 17 回）の開催

- ・開催日時：2019 年 3 月 17 日（日）15 時 00 分～17 時 00 分
- ・会 場：「NPO 事務所」（大阪市中央区東平 2-3-5-3F）
- ・出 席：11 名（書面出席 6 名）、欠席 6 名
- ・議 案：第 17 期事業報告及び決選報告  
第 18 期事業計画及び収支予算の審議  
役員（理事長、理事、監事）改選の件

#### ◇理事会の開催

理事会は、2019 年 3 月 17 日（日）に 8 名参加にて行われた。

#### ◇運営委員会の開催

以下のとおり、理事・会員混合型の運営委員会を開催し、各事業の企画・運営協議を行った。

- |                    |                    |                     |
|--------------------|--------------------|---------------------|
| ・1 月 26 日（土）10 名参加 | ・2 月 23 日（土）6 名参加  | ・4 月 20 日（土）8 名参加   |
| ・5 月 19 日（日）11 名参加 | ・6 月 15 日（土）11 名参加 | ・7 月 27 日（土）6 名参加   |
| ・9 月 22 日（土）10 名参加 | ・11 月 24 日（日）6 名参加 | ・12 月 28 日（土）15 名参加 |
- 忘年会も同時開催

また、運営委員会に併せて 6 月 15 日（土）、7 月 27 日（土）、9 月 22 日（日）の 3 回、自主研究「“コミュニティ”がデザインする“場”的未来／GABA 研究会」も開催された。さらに、7 月 7 日（日）にはキッズプラザ大阪を見学調査した。

### (2) 財源確保の充実と課題

2019 年度は、収入面では大阪まち遊学など定着化した自主プログラムについてプログラム毎に収支バランスを取る原則を着実に継続するとともに GABA 研究会の活動が外部からの研究助成認定に繋がり、支出面では管理費を最大限圧縮することで運営の基盤となる定常的な経費をまかなうことができた。

今後も多様な活動を継続していくためには外部からの委託業務の受託が重要であり、引き続き委託事業の開拓に努めるとともに、自主事業の更なる魅力向上を図っていく必要がある。

以上